

第8回全日本ラージボール卓球選手権大会（香川大会）審判の手引き

1. 競技開始前

- ◎審判グッズ 審判員は試合開始前に待機席で「対戦記録用紙（4枚または5枚複写）」と審判グッズを受け取る。
4人（組）リーグの老番台はコピー（メモ）用紙に記録し最後にまとめる。
- ◎選手確認 該当コートに移動し、ゼッケン着用の確認と共に対戦表との照合を行う。
- ◎ユニフォーム確認 （公財）日本卓球協会公認用具指定業者のもので公認マークが付いているかどうか確認する。
- ◎ラケット確認 ラケットはJTTA、ラバーは表ソフトでJTTAかITTFから公認されているものかを確認する。ラバーのはみ出しや欠損はないか等もチェック。
- ◎サービス・レシーブ・エンド選択の拳（対戦表にS・Rを記入）
- ◎開始前の練習時間計測（1分以内）

2. 競技中

- ◎開始時の宣告 ファーストゲーム ○○ トゥ サーブ。ラブオール。
- ◎時間計測 1ゲーム毎に計測する。開始後8分経過した場合は促進ルールが適用され、そのマッチ終了まで継続する。（ストップウォッチをスタートさせる）
但し、8分経過時に双方の得点 合計が18点（9-9、10-8）以上の場合は適用されない。
促進ルール適用の場合は、本部にストロークカウンターを要請する。
- ◎カウントコール ポイント決定後に宣言（選手に聞こえるようにハッキリと宣言）。
- ◎レット 選手に聞こえるように宣言し、同時に頭上高く手を上げる。
- 正しく出されたサービスがサーバーのコートでバウンドした後、ネットアセンブリに触れて相手コートに入った場合、あるいはネットアセンブリに触れたボールが、レシーバーによって「オブストラクション」された場合。
 - レシーバーがまだ準備していないときにサービスが出された場合。
ただし、レシーバーがボールを打とうとしなかった時に限る。
 - 他競技領域からのボールの侵入、あるいはラリーの結果に影響が及ぶほどに競技条件が乱された場合。
 - ラリー中、相手競技者の汗がボールに付着し、そのために正しくリターンができなかった場合。
 - ラリー中にボールが破損した場合。
 - 促進ルールを適用する場合。

◎競技の継続を促す	タオル使用時やポイントの合間が長引かないようする。
◎サービス確認	オープンハンドであるか、台より下がっていないか、ほぼ真上に投げ上げているか、落下途中の打球を確認出来る高さに投げ上げているか、落下途中で打球しているか、打球点が台上でないか、レシーバーから見えているか等。
◎ゲーム終了宣告	11-X。ゲーム トゥ ○○。(宣告と同時に勝者側に腕を伸ばす)
◎ゲーム間の計測	1分以内。超過する前にタイム宣告。
◎マッチ終了宣告	11-X。ゲーム アンド マッチ トゥ ○○。(宣告と同時に勝者側に腕を伸ばす)
◎審判員の動作	【ポイント】 【レット】 【サーバー】



※ 一人審判においては、ポイント動作はしなくてよい。

3. 競技終了後

◎対戦記録用紙記入	グループの第1ステージが全て終了した後、対戦結果を整理して選手全員（混合ダブルスは代表者1人）のサインをいただく。 ゲーム数が並んで三つ巴になった場合はゲーム数、ポイント数まで正確に計算をして、審判長に確認していただいた後、選手からサインをいただく。 ※第1ステージ、3人（組）リーグの3番の選手は、自身の試合終了後もベンチ横にある椅子で待機していただく。（混合ダブルスは1人でもOK） 4人（組）リーグで3試合目が早く終わった選手も同様にベンチで待機。
◎対戦結果報告	記録が終わったらコート内で記録用紙の2枚目以降をグループの組（人）の選手に渡し、1枚目は審判長に提出する。
◎試合後の整理	台拭き、審判グッズの確認等を行う。使用球は回収し、追加しておく。
◎待機	該当コートの審判作業が全て完了したら、次の審判まで待機席で待機する。

◎対戦記録用紙（シングルス3人リーグ）の凡例

第8回全日本ラージボール卓球選手権大会												本部用										
シングルス 第1ステージ				<table border="1"> <tr> <td>種目</td> <td>グループ番号</td> <td>コート番号</td> <td>開始予定時刻</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種目	グループ番号	コート番号	開始予定時刻					7月12日 香川県卓球協会						
種目	グループ番号	コート番号	開始予定時刻																			
No.	選手名	所 属	都道府県	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	勝	負	得点	順位	選手サイン						
①					—																	
②				—																		
③				—	—																	
第1試合 ②—③				第2試合 ①—③				第3試合 ①—②														
S R		対				対				対												
		—		S R	S R	—		S R	S R	—		S R										
		—		S R	S R	—		S R	S R	—		S R										
主審名		確認欄		審判長		進行		記録														

◎対戦記録用紙（混合ダブルス4人リーグ）の凡例

第8回全日本ラージボール卓球選手権大会												本部用										
混合ダブルス 第1ステージ				<table border="1"> <tr> <td>種目</td> <td>グループ番号</td> <td>コート番号</td> <td>開始予定時刻</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				種目	グループ番号	コート番号	開始予定時刻					7月11日 香川県卓球協会						
種目	グループ番号	コート番号	開始予定時刻																			
No.	選手名	所 属	都道府県	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	勝	負	得点	順位	選手サイン						
①					—																	
②				—																		
③				—	—																	
④				—	—	—																
第1試合 ①—④				第2試合 ②—③				第3試合 ①—③														
S R / S R		対				対				対												
		—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R										
		—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R										
主審名		確認欄		審判長		進行		記録														
第4試合 ②—④				第5試合 ①—②				第6試合 ③—④														
S R / S R		対				対				対												
		—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R										
		—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R	S R / S R	—		S R / S R										

◎対戦記録用紙記入

第2ステージの場合は、試合前に開始時刻を記入。

試合終了後、勝者（混合ダブルスは代表者1人）にサインをいただく。

試合終了時刻、主審名を記入。

◎対戦結果報告

記録が終わったらコート内で記録用紙の2枚目以降を各選手に渡し、1枚目は審判長に提出する。

◎対戦記録用紙（混合ダブルス・第2ステージ）の凡例

（種目・試合番号・コート番号・開始予定時刻は印刷されています）

第8回全日本ラージボール卓球選手権大会								本部用	
混合ダブルス 第2ステージ		種目	試合番号	コート番号	開始予定時刻	7月 日			
						香川県卓球協会			
No. 男子選手名 所属 女子選手名 所属 都道府県	S R	S R	S R	S R	No.				
					男子選手名				
					所属				
					女子選手名				
					所属				
					都道府県				
開始時刻		時 分		勝者 署名					
終了時刻		時 分							
主審名				確認欄	審判長		進行		記録

◎対戦記録用紙（シングルス・第2ステージ）の凡例

第8回全日本ラージボール卓球選手権大会								本部用					
シングルス 第2ステージ		種目	試合番号	コート番号	開始予定時刻	7月 日							
						香川県卓球協会							
選手名 所属 都道府県	S R	S R	S R	S R	No.								
					選手名								
					所属								
					都道府県								
					開始時刻		時 分		勝者 署名				
					終了時刻		時 分						
主審名				確認欄	審判長		進行		記録				